

## 2024 年度日乗連 PSV セミナー開催報告

2024 年 10 月 19 日、25 日、26 日の 3 日間で、日乗連パイロットアシスタンスの資格取得と維持を目的としたセミナーがオンラインと実参加のハイブリッド方式で開催されました。新規受講者 2 名が PSV (ピアサポートボランティア)として誕生し、従来の資格保持者を含め計 30 名の PSV 体制になりました。

MHP(メンタルヘルスプロフェッショナル)である公認心理師/臨床心理士の中濱慶子先生を講師にお招きし、メディカル、アルコール/薬物依存、訓練問題、Professional Standard、Wellbeing、そしてクリティカルインシデントの 6 つの項目への対応ができるよう、ケースワークを交えて、講義が進められました。

セミナー修了時点で、RCU、JAC、JTOPS、UJAR、SNJK(JJP 含む)、IPU、ORC、HAC、JFU、ACA に日乗連 PSV が在籍しており、北は北海道、南は沖縄まで遠隔地を含めて、会社や所属基地を超えて対応できる体制となっています。

クリティカルインシデント(航空事故、インシデント)発生時は、所属の PSV や執行委員から、連絡をさせていただきます。事例発生直後から、乗員にはストレスが掛かりますが、PSV や MHP が早期に対応することで、職場への復帰がスムーズになることが明らかになっています。

また身体検査関連や法律問題にも、多くの相談が寄せられますが、HUPER 委員会や LEGAL 委員会の専門家や弁護士を中心として対応が可能です。個人の抱える悩みやトラブルに、PSV が早期に対応、傾聴することにより、9 割前後の相談者が職場への復帰を果たしています。さらに専門的なケアが必要な場合は MHP が対応することで、うつ病などの深刻な症状に移行する前に仲間を助ける選択肢もあります。

以下に紹介するような悩み事があれば、気軽に PSV へご相談ください

- ・メディカル (航空身体検査に関する諸問題)
- ・アルコール/薬物問題 (アルコール/薬物に関する問題全般)
- ・訓練問題 (訓練にかかわる事項全般)
- ・Pilot Professional Standard  
(パイロットがかかわる専門的または倫理的問題の対処)  
例)CRM, 相手との対立、SOP に従わない、クルーの間の安全性への影響、ハラスメント等
- ・Pilot Wellbeing  
(パイロットの Performance に与える身体的、心理的、社会的、感情的な問題)  
例)人間関係、家庭生活における問題など
- ・クリティカルインシデントへの対応

パイロットアシスタンス(PA)相談窓口 ※秘匿性は守られます

PA 専用電話 (050-30-911-080) PA 相談メール [pilotassistance@alpajapan.org](mailto:pilotassistance@alpajapan.org)

以上